

第4号
**TAKE
FREE**

川 あそび 情報 誌

九州かわとも、

■ 特集記事

- ・九州河川協力団体連絡会議プロジェクトチーム紹介
- Irodori チーム／九州河川協力団体連絡会議に女性の参加者を増やしたい！ -
- ・防災の取り組み日田花月川ポスター
- 自治会長が地域の皆さんに届ける水防災について -

■ 「流域じまん」

- ・米米惣門ツアー（熊本県）
- 菊池川流域連携会議の井口さんが仕掛けるユニークな地域おこし -
- ・NPO法人 水辺に遊ぶ会（大分県）
- 山守さんに聞いた、「中津干潟」の保全活動に携わる皆さんの想い -
- ・二階堂家住宅（鹿児島県）
- 読者オススメ！！皆さんに知りたい二階堂家住宅 -

■ 第4回 九州川の風景フォトコンテスト結果発表！

表紙の写真：熊本県：加勢川（江津湖の朝活カヌー）

川やまばり
へ行こうこう！

九州かわとも、

川あそび情報誌
九州かわとも「やまばり川へ行こう」

2022年春号(Vol.4)
2022年3月31日発行

編集発行：「九州かわとも」編集局
事務局：九州河川協力団体連絡会議

九州の 川遊び情報募集集中！

九州の川で色々な活動をしている皆様！「九州かわとも」編集局までぜひ情報をお寄せください。
お待ちしております。



川あそび情報誌「九州かわとも」事務局（一社）北部九州河川利用協会内
TEL：0942-34-6733
FAX：0942-32-6877
MAIL：kawatomo.mk@gmail.com

裏表紙の写真：福岡県「黒川」

KYUSYU
KAWA
TOMO

川の応援団

参議院議員

足立 としゆき



「九州かわとも」第4号の発刊を心よりお祝い申し上げます。今年で7年目を迎えた「九州河川協力団体連絡会議」の皆さま方の河川や流域に対する情熱や様々な活動に対しても、心より感謝申し上げます。

若葉の緑が目に鮮やかな季節となりましたが、皆様には益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成9年の河川法改正により、「環境」が河川管理の一つの柱となり、川に対する市民活動も大きく変化してまいりました。私が、水管理・国土保全局長時の平成25年に河川法を改正し、新たに『河川協力団体指定制度』を創設しました。当時は個人やNPO法人などの皆さまが、それぞれの河川や地域の将来の姿を夢描かれ、個別に環境活動に取り組まれ、さらには流域が一体となり、「緑川の日」という共通した行動目標を掲げ、様々な活動を通じて国を始めとする各行政機関、さらに企業をも含む、官・民・企業の良好なパートナーシップを築かれていました。川の恵みは流域の皆様と行政が連携して育むべきものであり、防災・減災、川の適正な利活用、自然環境の保全など、流域の皆様の知恵をお借りしなければ解決できない課題も数多くあります。緑川流域の成熟した連携体制は、地域協働によるこれからの河川管理・流域管理の望ましい姿を先取りされており、敬服いたしました。緑川の

私が、水管理・国土保全局長の時に、「緑川の日」の流域一斉清掃活動20周年を祝福するメッセージを送らせていただきました。緑川では、流域の川をこよなく愛する住民団体や自治会等の皆様が、日頃から主体的に河川愛護活動に取り組まれ、さらには流域が一

取り組みが波紋の様に九州全体へ広がり、また、新たな波紋も多数重なり合って来ていると伺っております。今年2月には、お隣の白川では河川敷地占用許可準則に基づく「都市・地域再生等利用区域」に指定され、川と街を繋ぐ取り組みも始まっていると聞いています。

さて、「九州河川協力団体連絡会議」の設立や川あそび情報誌「九州かわとも」の発行は、全国の先駆けとも言うべき画期的取り組みであると思います。個々の団体の活動の情報を共有し、共通の課題解決に向けた取り組みや、新たな次世代の人材発掘を目的とする River Crewチーム、女性の視点から川で活動する子どもたちに対し、この川の活動環境を支援する I rod oriチームなど6チームと18流域16チームで成る流域会議での情報交換と情報共有の仕組みなど、水管理・国土保全局長当時に担当職員と議論していた「これから河川管理の有るべき姿」を具現化されており、皆さま方の活動に共感し尊敬の念を抱きました。ここに至るまでには、様々な課題等があつたものと推察いたしますが、河川を愛してやまない皆様方の情熱と結束力の賜であると、心から敬意を表するところであります。

私自身は、6年前の平成28年の参議院議員選挙で皆様方の大きなご支援を得て初当選しました。そして、水害や土砂災害などが頻発する我が国において、災害に備え安全・安心で強靭な国土を築き日本を元気にするため、全力で取り組んできました。とりわけ九州では、近年、九州北部豪雨、六角川や球磨川の水害など毎年のように大きな被害が出ています。これらの災害発生時には即座に現地に駆けつけ、罹災者の皆さま方等の声を聞きながら被災状況や緊急復旧状況を脳裏に焼き付け、早期の復旧・復興に向けて努力してまいりました。

私も、国政を担う一人として、河川協力団体の皆さま方の活動が、今後益々発展しますようにお力添えが出来ればと思っています。機会をつくつて是非皆さま方の活動に参加し、共に汗を滴きながら川・流域への夢を語りたいと思いますので、気軽にお声がけください。

最後になりましたが、皆様方の今後益々のご健勝とご活躍、そして九州のご発展を心からご祈念し、結びとさせていただきます。

令和4年5月 吉日



SUP体験(菊池川)



スカイランタン(遠賀川)



リバーフロントマルシェ(川内川)

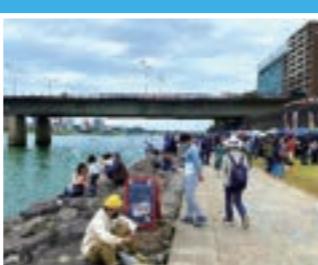


水郷杯サップマイルレース(三隈川)

川の活動を応援しています。



白川夜市



大淀川リビング

する団体を河川協力団体として法律上でも位置づけることにより、自発的な活動を促進し、よりきめ細やかで、住民に寄り添った河川管理が行えることを期待したものです。

九州では、43団体が河川協力団体に指定され、様々な活動を通して河川管理をご支援いただいていると聞いております。

河川を愛してやまない皆様方の情熱と結束力の賜であると、心から敬意を表するところであります。

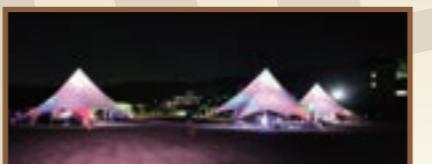
うきは大石かわまちフェスタ 2021



夜空に上がる花火



イベントの様子



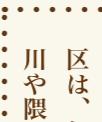
光と映像のショー



大石分水路でキャンプ



いかだde川遊び



いかだde川遊び



浮桟橋からダイブ！

も盛んになり、物流の拠点となることで、経済が発達し「吉井銀」と称される金融も発展しました。この時代から造られた建物が「白壁の街並み」として現在も残っています。

筑後川と隈ノ上川が合流する桜井地区は、無堤であることから、度々筑後川や隈ノ上川の氾濫による水害に悩ま

されています。そこで、一帯の取り組みを紹介します。

このように、うきは市の産業基盤は、先人たちの偉大な功績により支えられており、我々はこれを後世に引き継いでいくべく、様々な「水」に関する取り組みを行っています。ここでは、一部の取り組みを紹介します。

筑後川と隈ノ上川が合流する桜井地区は、無堤であることから、度々筑後川や隈ノ上川の氾濫による水害に悩まされており、我々はこれを後世に引き継いでいくべく、様々な「水」に関する取り組みを行っています。ここでは、一部の取り組みを紹介します。



福岡県うきは市長
高木 典雄

川の応援団



「九州かわとも」第4号の発刊、誠におめでとうございます。今回は、うきは市にまつわる「水」に関してご紹介したいと思います。

九州一の大河「筑後川」と「耳納連山」に囲まれたうきは市は、福岡都市圏から車で1時間も満たない近距離にありながら、水と緑に恵まれ、風光明媚な自然環境、田園風景を今なお保っています。

うきは市の特徴の一つとして、「水」があげられます。うきは市は、耳納連山と阿蘇山を水源とする筑後川水系の山地から滲み出る豊富で良質な地下水に恵まれていることから、市民の生活に必要な水の100パーセントを地下水でまかなっている全国でも有数の「水のまち」です。うきは市の歴史や文化、産業は、この「水」と深い関わりがある中で、現在のうきは市が形成されているところです。

水に恵まれた私たちの暮らしは、先人たちの知恵と命をかけた努力がもたらされたといつても過言ではありません。江戸時代初期のうきは市は、筑後川の沿川に立地しているにも関わらず、土地が筑後川より高い位置にあつたため、水が引けず田畠は荒れ、人々の暮らしは貧しいものでした。そこで、五人の

その後、先人たちの偉大な功績により十分な水を得た広大な土地は水田になりました。また、水路沿いには多数の水車小屋が作られ、その動力を利用して、製粉・製麵が盛んになっていました。今では「うきは」は神埼や島原と並び「九州三大麵どころ」のひとつに数えられています。また、うきはの米は、筑後川の舟運を利用して現在の大川市まで運ばれ、そこで大型船に積み替えて大阪へ運ばれました。砂糖や蠣などの農産物を運ぶ舟運

庄屋が立ち上がり、筑後川から水を引く用水路と大石堰の建設を計画。工事は困難を極めましたが、人々の決意と努力が実を結び、無事に完了し、現在では、約2,200ヘクタールの田畠もおよぶ水路トンネル「袋野隧道」を人力で堀り、筑後川の水を引き入れました。この袋野隧道により、現在では約400ヘクタールの田畠を潤しています。これらの先人たちの功績が、現在のうきは市の農業の発展に繋がっており、今も恩恵を受けているところであります。

うきは市 Information

うきは市 WEB サイト



うきは市観光ポータルサイト



うきはつ子応援サイト



うきは市公式チャンネル



メッセージ



九州地方整備局 河川部長
島本 和仁

九州かわとも4号の発行、誠におめでとうございます。

また、日頃より、九州地方整備局の河川行政にご理解・ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

令和2年7月に九州地方整備局に配属となり、その後のコロナの状況を踏まえながら、ようやく最近、九州内各地の河川の状況を見て回ることができました。九州勤務が初めての私にとって、各河川の表情の違いを驚きをもつて拝見しております。九州地方整備局が管理する一級水系直轄管理河川だけでも20水系と全国で最も多いという事実に加え、その流域に広がる地形の多样性や、河口が東西南北あらゆる方向にあり、その注ぐ先である海域も様々であり、その結果、本当に多種多様な河川の表情を見せてくれています。

そうした中で、各河川、地域において活発な水辺空間の利用がなされており、こうした文化をより盛り上げたい気持ちでいっぱいになりました。

我々国土交通省の職員として河川管理に携わる者は、どうしても「治水」の側面から川を捉えがちになります。確かに河川災害は、突然やってきて、一瞬で広い地域に影響を与えます。これに

ついてしっかりと備えを行うことは重要かと思います。

一方で、河川空間の利用は、その流域に住む方をはじめとした流域の人々に、とても、その生活の一部となつております。365日、常に関わりがあるものです。そういう意味で川を捉えると、河川空間をいかに活用していくかに楽しむかは非常に重要な取り組みだと思います。

部内の若手職員に、こうした河川空間にかかる職務を進めるうえでのやりがいや魅力を聞いたところ、「川だけではなく街の活性化にも貢献できるところが魅力」という回答がありました。当該職員は、かわまちづくりをはじめとしたミズベリング推進の業務に携わっており、川を中心として街・社会に対し、ハード、ソフトの両面から水辺空間の利用促進を働きかけています。

があり、その先に、地域への貢献の実感が伴ってきます。

整備された河川空間において、地元住民の日常利用をはじめ、イベント時など、多くの人が訪れ、賑わっている所をみると、国交省職員として、やりがいを感じるとともに、河川に訪れた方が、周辺のまちに寄るなど回遊することで、波及効果を生み、それが地域活性化にも繋がることは、その地域の方々にプラスであることはもとより、そこに関わる我々職員の喜びもあります。

365日を通じての川との付き合いは、川の魅力の再発見とともに、地域の魅力再発見であり、さらに、人との触れ合いを通じての自分たちの仕事の魅力の再発見もあります。

近年の豪雨災害の頻発をうけて、「災害」という意味での河川の負の側面への対応に追われている我々ですが、川の魅力に立ち戻る原点が、この冊子にあると感じます。そして何よりも、地域の方々の喜び、我々職員の喜びが共有可能になりますが、九州河川協力団より九州各地の河川において、河川の維持や河川管理に関する知識の普及及

下弓削川内水対策



水辺で乾杯



び啓発等、行っていただけていることに感謝を申し上げるとともに、引き続きの連携と、関係各位のますますのご活躍を祈念しまして結びとさせていただきます。

白川夜市

マイ・ダムカードフォトフレーム（立野ダム）

リバーフロントマルシェ（川内川）

HASSENBA（球磨川）

大淀川リビング

花火大会（人吉市）

今、川と街を繋ぐ取り組みが始まっています！

最後になりますが、九州河川協力団体のみなさまにおかれましては、日頃より九州各地の河川において、河川の維持や河川管理に関する知識の普及及

九州かわとも4号 | もくじ

■ 川の応援団

- 参議院議員／足立 としゆき様 1

- 福岡県うきは市長／高木 典雄様 3

■ メッセージ

- 九州地方整備局河川部 河川部長／島本 和仁様 5

- 「九州河川協力団体」のロゴマークが出来ました！ 8

■ 特集記事

- 九州河川協力団体連絡会議プロジェクトチーム紹介 9

- Irodori チーム／九州河川協力団体連絡会議に女性の参加者を増やしたい！ -

- 防災の取り組み日田花月川防災かわら版 11

- 自治会長が地域の皆さんに届ける水防災について -

■ 流域じまん

- 流域じまん① 米米惣門ツアー 17

- 菊池川流域連携会議の井口さんが仕掛けるユニークな地域おこし -

- 流域じまん② NPO法人水辺に遊ぶ会 19

- 山守さんに聞いた、「中津干潟」の保全活動に携わる皆さんの想い -

- 流域じまん③ 二階堂家住宅 21

- 読者オススメ！！皆さんに知りたい二階堂家住宅 -

■ 第4回九州川の風景フォトコンテスト結果発表！ 23

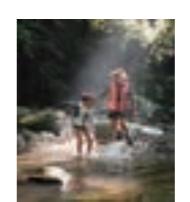
- 協賛企業／編集部後記 25



【表紙の写真】

第3回九州川の風景フォトコンテスト
「最優秀賞」

熊本県: 加勢川(江津湖の朝活カヌー)



【裏表紙の写真】

第4回九州川の風景フォトコンテスト
「川の楽しさ魅力を感じる写真優秀賞」

福岡県: 黒川

現在、九州管内では43団体が河川協力団体に認定され、四季を問わず積極的な活動が展開されています。また、九州では全国に先駆けて「九州河川協力団体連絡会議」が平成28年に発足し、河川協力団体相互の連携の創出や、情報交換の促進、九州地方整備局との関係構築等が行われています。

令和2年10月に開催された「令和2年度第3回役員会議」において、九州地方整備局より、河川協力団体が行う様々な活動の活性化及び、九州で活動する河川協力団体の認知度アップにつながる一手として、「九州版のロゴマーク」の作成が提案されました。そこで、女性が中心となつて誕生した「Irodori チーム」と九州地方

選定された「河川協力団体」ロゴマーク



皆様、これからよろしくお願いします。

中村代表のコメント

皆様こんにちは。河川協力団体も、2022年3月2日の全体会を機に、6チームの活動と流域を中心に活動することと決まりました。九州の川をより良い川にするために今まで以上に河川事務所と話し合いをしながら進めればと思います。





子供たちに川の楽しさを伝えるのも私たちの役割です！

それでも、話し合いを重ねる事で、多くの熱い思いが混沌としている状況も、次第に研ぎ澄まされてクリアになります。最終的にはメンバーの思いがたっぷりとこもった、しかし洗練されたデザイン案が完成。令和4年1月に開催された九州河川協力団体の役員会で、デザインの提案をすることができました。

チームメンバーがオンライン上に集まり「ロゴマークにかける想い」を何度も語り合いました。コンセプトは、「これ何のマーク？素敵！」このマークのTシャツ着てみたい！」です。そこで出たアイデアをもとに、手書きのイメージ案を起こし、さらに修正を加えていきました。メンバー全員、川の未来に対して熱い気持ちを持っているので、次々と意見が出ましたが、いかんせん、ロゴづくりの経験に長けた人材が少なかったため、アイデアの全てを盛り込めるようなデザインを考える作業でとても苦労しました。

結成後はじめてのプロジェクトは、九州河川協力団体のロゴマーク案の作成でした。

ロゴマークの誕生まで



イベントの合間にこっそり楽しんでたら握られてしましました笑

成果をひとつ積む事ができた



災害支援物資をお届けしました！
(球磨川)



どなたでも参加が可能ですので、ぜひ興味のある方はご連絡ください。



災害支援物資をお届けしました！
(球磨川)



九州河川協力団体連絡会議
プロジェクトチーム紹介②

「Irodori」チーム誕生！

具体的には、女性の視点から川で活動する子どもたちに対して河川での活動環境を支援する。(九州流域子どもサミットの企画など)そして、これまで男性が多かった河川での活動に、女性が参加しやすい環境づくりを行う。といった目標を掲げ、アイデアを出し合い、試行錯誤と実践を繰り返していると、意欲に満ちています。



同じ夢を持った皆さんに支えられて楽しい活動の輪を広げていきます♪

九州河川協力団体チーム会議とは？

現在、九州河川協力団体には6つのプロジェクトチームがあります。所属や立場を問わず、誰もが参加できるオープンな場です。同じ関心領域を持つ人々の横のつながりを作り、九州の河川での活動に新たな活力を呼び込みます。

各プロジェクトチーム会議

- 水防災
- Irodori
- かわとも
- River Crew
- 川のワークショップ
- ゴミ拾い



九州河川協力団体連絡会議の「Irodoriチーム」は、女性の視点で活動する子どもたちに対して河川での活動環境を支援する。(九州流域子どもサミットの企画など)そして、これまで男性が多かった河川での活動に、女性が参加しやすい環境づくりを行う。といった目標を掲げ、アイデアを出し合い、試行錯誤と実践を繰り返していると、意欲に満ちています。

九州河川協力団体連絡会議に女性の参加者を増やす」事を目的に令和2年度に結成されました。

防災の取り組み

日田花月川防災かわら版

・自治会長が地域の皆さんに届ける水防災について・

おおいた
大分県日田市

平成24年7月の九州北部豪雨以来、平成29年や令和2年など梅雨末期の激しい雨で水害が発生した大分県日田市。市内北部を流れる筑後川支流「花月川（かげつがわ）」の流域では、その経験を忘れず、日頃から高い防災意識を持つて欲しいとの思いで、沿川の自治会や市民団体、行政機関、地元企業等が協力して勉強会や啓発イベント「防災フェスタ」を開催してきました。

その結果、住民相互の連帯感の醸成や「自分達は何をすべきか?」といった、能動的な意識が住民に少しずつ付いてきました。

しかし第2回防災フェスタの開催を検討していた矢先、新型コロナウイルス感染症が流行。啓発活動の青写真に大幅な軌道修正が必要となりました。計画していた様々な取り組みが出来ない中で、知恵を出し合って誕生したのが「日田市防災かわら版」。この取

組について「NPO法人ひた水環境ネットワーク」の河津勇成さんにお話を伺いました。

花月川は筑後川水系の支流で、大分県日田市の北部を流れる長さ16.6kmの一級河川。流域下流部には、江戸時代の街並みが残る「豆田地区」があります。国の重要伝統的建造物群保存地区や、日本遺産等にも登録されていて、観光地としても人気の高いエリアです。

一方で、この花月川は平成24年7月3日の水害以降、たびたび豪雨による被害を受けています。そこで、堤防の強化や河川の浚渫（※）といった工事にくわえて、住民一人ひとりの防災意識の高揚や、地域コミュニティの自主防災の体制づくりが進められてきました。

一方で、この花月川は平成24年7月3日の水害以降、たびたび豪雨による被害を受けています。そこで、堤防の強化や河川の浚渫（※）といった工事にくわえて、住民一人ひとりの防災意識の高揚や、地域コミュニティの自主防災の体制づくりが進められてきました。

「外に出ると危険！」

自治会長がヒーローになって皆に呼びかける

自治会長がヒーローになって皆に呼びかける



「日田市防災かわら版」とは？

そんな中、2019年2月に開催されたのが「第1回防災フェスタ」です。「楽しい」「興味がわく」「行きたい」をテーマに、専門家の基調講演の他、炊き出しを兼ねた御当地グルメの食べ比べ、ワークショップ等が企画され、市内各地から多くの方が参加しました。

「防災フェスタが終わった後、関わった自治会長さんや関係者から『一人でやるのは大変だけど、皆でやると良いね。またやろうや』という感想を頂きました。皆の気持ちが盛り上がり上がった瞬間でしたね。」と、イベントをプロデュースした河津さんは語ります。

しかし、「コロナの中でも災害は来ます」と、気持ちを新たに再検討。「集まらなくともインタビューに出向く事はできる！」という事で、自治会長へのインタビューを行い、地域住民に意識啓発を行うコンテンツの作成に舵をききました。そうして誕生したのが「日田市防災かわら版」というポスターとインターネット動画です。花月川流域の7つの自治会が賛同してくれました。

「日田市防災かわら版」とは？

大盛況だった防災フェスタ。翌年に第2回を開催する事となりました。しかし、準備を進めている中で、新型コロナウイルス感染症が流行し、中止せざるを得なくなりました。皆さん熱心に取り組んでいたので、かなり落ち込まれたのだそうです。

しかし、「コロナの中でも災害は来ます」と、気持ちを新たに再検討。「集まらなくともインタビューに出向く事はできる！」という事で、自治会長へのインタビューを行い、地域住民に意識啓発を行うコンテンツの作成に舵をききました。そうして誕生したのが「日田市防災かわら版」というポスターとインターネット動画です。花月川流域の7つの自治会が賛同してくれました。

大盛況だった防災フェスタ。翌年に第2回を開催する事となりました。しかし、準備を進めている中で、新型コロナウイルス感染症が流行し、中止せざるを得なくなりました。皆さん熱心に取り組んでいたので、かなり落ち込まれたのだそうです。

しかし、「コロナの中でも災害は来ます」と、気持ちを新たに再検討。「集まらなくともインタビューに出向く事はできる！」という事で、自治会長へのインタビューを行い、地域住民に意識啓発を行うコンテンツの作成に舵をききました。そうして誕生したのが「日田市防災かわら版」というポスターとインターネット動画です。花月川流域の7つの自治会が賛同してくれました。

最初は断られたそうですが、10回、15回と、粘り強くお願いを重ねた結果、ようやく一人の自治会長さんが協力をすると、他の自治会長もジャンプしてくれました。

最初は断られたそうですが、10回、15回と、粘り強くお願いを重ねた結果、ようやく一人の自治会長さんが協力をすると、他の自治会長もジャンプしてくれました。





地域の子ども達に配られた防災ノート



街の色々なところで「防災かわら版」を目にすることが出来ます！



防災かわら版を「きっかけ」にしていきたい

雨の降り方が明らかに変わっている近年。豪雨災害への備えはますます重要なものとなっています。河津さんは「防災かわら版や防災ノートが定着して、梅雨時期に地域のスーパーに買いて、梅雨時期に地域のスーパーに買って、親子が、防災かわら版を見て『そろそろ大雨に気を付けてない季節だね』と、備える意識を持つきっかけになってくれれば」と意気込みます。自分たちの地域は自分たちで守る。そんな思いを育む「防災かわら版」が、今後どのように進化していくのか楽しみですね。

日田市花月川流域自治会

【お問い合わせ】
特定非営利法人
ひた水環境ネットワークセンター
MAIL : info@hita-mizu.net

花月川 かわら版

防災かわら版
YouTube動画



防災かわら版に引き続き、なんと「防災ノート」も完成しました。ノートには、各自治会長からのメッセージや、ハザードマップが掲載されており、いざという時にどのような行動をとるのかを時系列で表す「マイタイムライン」も作る事が出来ます。

目を引くのは表紙のデザイン。誰もが一度は目にした事がある有名な学習ノートの表紙にそっくりです。勝手に真似をしたのではなく、きちんと販売元の企業に社会的な意義を訴え、特別に使用許可を得たのだそうです。

防災ノートも誕生



撮影の様子

-MAKING-



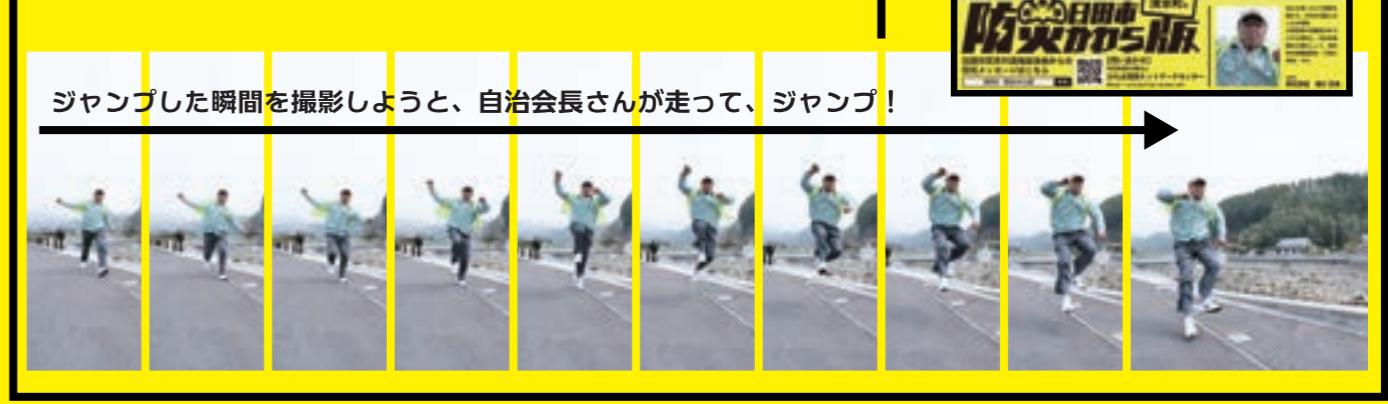
打ち合わせをしながら
撮影をします。



川辺で撮影！とても気持ちよさそうですね♪



完成したポスターがこちら



ジャンプした瞬間を撮影しようと、自治会長さんが走って、ジャンプ！



● 流域じまん② NPO法人水辺に遊ぶ会 P17

- 山守さんに聞いた、「中津干潟」の保全活動に携わる皆さんのお想い -



● 流域じまん③ 二階堂家住宅 P19

- 読者オススメ！！皆さんに知っていただきたい二階堂家住宅 -



みんなに伝えたい場所・味・物語がある！

ふるさとの川には、みんなに自慢したくなる魅力がいっぱい！

このコーナーでは、河川を愛し、河川を知り尽くした皆さんに、「流域じまん」を尋ねてみました。流域の歴史、景勝地、味覚、活動、人、产品等々、長い暮らしの中で育まれてきた地域の宝を再発見してみませんか？



● 流域じまん① 米米惣門ツアー P15

- 菊池川流域連携会議の井口さんが仕掛けるユニークな地域おこし -

流域じまん

くまもと やまが
熊本県山鹿市



米米惣門ツアーアイ

こめ こめ そう もん

菊池川流域連携会議の井口さんが仕掛けるユニークな地域おこし



熊本県北部を流れる菊池川。その中流にあたる山鹿市の旧豊前街道では、「米米惣門ツアー（こめこめそうもんツアー）」という、観光ツアーが若者からシニアまで人気を呼んでいます。また、新型コロナウイルス感染症が流行する以前は、海外からの旅行者も数多くこの企画に参加をしていたそうです。今回は、米米惣門ツアーの仕掛け人であり、菊池川の流域をつなぐ活動にも意欲的に取り組んでいる井口圭祐さんに、お話を伺いました。

歴史と文化をあじわう 「米米惣門ツアー」

江戸時代に参勤交代のルートとして栄えた豊前街道。米米惣門ツアーは、その道沿に残る酒蔵（千代の園酒造）、麹屋・味噌蔵（木屋本店）などをめぐり、山鹿の文化や歴史を紹介する企画です。歴史的な建物の見学はもちろん、お酒の試飲や「2秒で出来る煎餅作り体験」など、様々な体験ができるのもお楽しみのひとつ。200mの距離を1時間かけてまちあるきをし、じっくり楽しんで頂いています。

江戸時代に参勤交代のルートとして栄えた豊前街道。米米惣門ツアーは、その道沿に残る酒蔵（千代の園酒造）、麹屋・味噌蔵（木屋本店）などをめぐり、山鹿の文化や歴史を紹介する企画です。歴史的な建物の見学はもちろん、お酒の試飲や「2秒で出来る煎餅作り体験」など、様々な体験ができるのもお楽しみのひとつ。200mの距離を1時間かけてまちあるきをし、じっくり楽しんで頂いています。

はじめまして
「素敵なきっかけ」から！

「これは、大変なことになるぞ！しっかり準備せんといかん！」と、旧豊前街道があわただしくなったのは2000年のある日のことでした。私たちのまち山鹿市下町地区を舞台に、全国放送のテレビドラマが撮影されたのです。「これは、放送後にこの地を訪れる人が増えるに違いない。地域として観光者の受入体制を整えねば！放送まであと3カ月しかないぞ！」と大騒ぎになりました。そこで、毎週月曜日に地域の皆さんと一緒に会議をはじめたのがきっかけなんです。

地域の皆がガイドになつて行う「モニターツアー」

訪れたお客様にどのようなプログラムを提供するのかを検討する中で、集まっていた下町地区の人達の共通点として、ここで、多くの人に来てほしい「Come come come」、さらに豊前街道の玄関口にあった番所「惣門」を繋いで「米米惣門ツアー」という名前が誕生しました。

（カム）と「米」をもじって「米米（come come come）」、さらに豊前街道の玄関口にあった番所「惣門」を繋いで「米米惣門ツアー」という名前が誕生しました。ツアーのポイントは、各参加店舗の皆さん自身が「ガイド」となり、ツアーにプロの知識で「ガイド」をしていく客にどういうものです。



看板のデザインもみんなで決めました！



このデザインはどげんね？

麹を実際に見ながらお話を聞けます！

「コロナ後」に向けて、今は出来る事を！



軒下ミーティング&ウケ(る)ネタ会議中！

そして、「こんな風に話したら喜んでくれたよ」という、お客様にウケた情報を共有しあう「ウケネタ会議」も誕生。地域の皆さんと一緒に「米米惣門ツアーアー」は少しづつ完成されていきました。

「軒下ミーティング」と「ウケネタ会議」でレベルアップ！

菊池川を見ながらの「菊池川じまん」



目を大きく見開いて、身振り手振り楽しそうにお話をする井口さんからは「地域への想い」が溢れています。



井口 圭祐 さん
(下町惣門会会长・菊池川流域連携会議会長)

惣門ツアーの事を
色々なメディアで大きく
取り上げられました！



光専寺でのお話を大好評！

おかげさまで、たくさんの方にご参加を頂いているので、時に「渋滞」が生まれ、待ち時間ができる事もあります。そんな時は、菊池川流域連携会議の会長に肩書を��ねじ。順番待ちをしているお客様を菊池川にお連れして、歴史や成立など、「川自慢」をしています。

「菊池川じまん」もあります！

←YouTubeでツアーのPR動画も公開中



米米惣門ツアー情報・お問い合わせ

酒蔵・味噌蔵・米蔵から光専寺まで約200m(約1時間)

【参加料】 600円(お土産付き)

【お休み】 水曜日(木屋本店・千代の園酒造・せんべい工房はそれぞれ見学できます)

【場 所】 千代の園酒造駐車場(集合場所)

【主 催】 下町惣門会

【お申込】 山鹿温泉観光協会:(0968)43-2952 / 9:00~17:30

【W E B】 <http://comecome-soumon.com/>



今までに何千人という方々にご愛顧いただき、海外の観光客の方からも好評頂いていた米惣門ツアー。コロナ禍が一日も早く終わって、ツアー参加者が戻つて来てくれる事を願っています。

そのためにも、今は地域の皆さんと一緒に出来る準備をしたいですね。

NPO法人水辺に遊ぶ会

「宝の干潟」 中津干潟を後世にのこすために

名もなき 宝の干潟

水辺に遊ぶ会は、1999年に生物調査や観察会などを通じた保全活動を始めました。大学で生物学を専攻した足利由紀子初代理事長と、仲間達で干潟を調査すると、絶滅寸前の生物が少生物の楽園を保全する第一歩を踏みだしました。折しも、港湾法や河川法の改正が進み「環境」の重要性の再評価や、住民の参画という機運が高まる中での船出となりました。



おおいたなかつ
大分県中津市



大分県北部と福岡県北東部とを流れ、周防灘に注ぐ一級河川「山国川」。全長56kmの終着地には瀬戸内海で最も大きな干潟である「中津干潟」が広がっています。大分県中津市を拠点に活動するNPO法人水辺に遊ぶ会は、この地の環境保全や住民間の合意形成に長年奮闘してきました。その甲斐あって、この干潟には、生きた化石とよばれるカブトガニをはじめ、全国的に希少な生き物たちが数多く息づき、非常に豊かな生物多様性を保つことができています。

「白砂青松」の復活を目指して

中津干潟には松林が接しています。以前は、白砂青松の美観を誇り、春には市内の各学校で「浜遠足」と呼ばれる新入生歓迎遠足が開かれる等、市民にとっての大切な憩いの場でした。

しかし社会情勢の変化で手入れが不十分になると、荒廃の一途を辿り、不法投棄が横行する危険な場所へと変容しました。水辺に遊ぶ会は、この景観の復活を目指し、松林の一部で保全活動をしています。その効果もあり、松林は本来の美しさが回復し、憩いに来る人々が戻ってきました。会では、あの懐かしい浜遠足が復活する日を夢見ていました。

ひがたらぼ、 中津干潟の日

生き物の元気！
子どもも元気！
漁師さんも元気！

活動開始から22年目を迎えた現在、5人程度始めた水辺に遊ぶ会の活動も、会員数200名、応援団200名という規模の大きな活動に成長しました。会では、中津干潟全体を「ネイチャーミュージアム」と位置づけ、価値ある環境を後世に継承するため、定期的なビーチクリーン、観察会の開催、調査研究、環境保全意識を広げる活動等を行っています。



中津干潟の素晴らしさを地域や多くの人々に伝えていくために、親子で参加できる観察会をはじめました。すると、中津干潟が生物多様性に溢れる宝の干潟だという事が地域の方々にも知られるようになり、次第に「中津干潟の貴重な環境は、そのまま残した方が良いよね」という意識が住民に広がっていきました。「中津干潟をはじめ、地域には希少な生きものが多数生息しています。でも、地域の人にとっては当たり前すぎてその大切さに気が

付けない。なのでこれをきちんと伝える事はとても大変です。常に広く正しい視点を持った外からの言葉が必要だと思います。」と、同会事務局の山守さんは話します。



NPO法人水辺に遊ぶ会
事務局長 山守 巧さん

中津干潟の 素晴らしいを伝える

「グリーンインフラ」の先駆例にも

活動を始めた頃に、海辺の護岸整備にも関わりました。様々な関係者と議論を重ねた結果、浜の現状は維持しつつ、護岸を少し陸側に築く事で、人々の安心安全も、湿地の生物多様性も同時に実現できる手法に辿り着く事ができました。この取組みは、多くの議論を重ね、合意形成に至ったプロセスも含めて、自然の持つ多様な機能を活用した「グリーンインフラ」の先駆的事例として、関係者の間で高く評価されています。



2016年には拠点施設「ひがたらぼ」が誕生し、地域の子ども達への学習支援や社会教育の場として、研究者が集うセンターとして、調査結果や研究成果を蓄積する博物館的な場としての機能を發揮し、活動はさらに充実しました。

2016年には、名付けられた「中津干潟」の名も、今では市民に浸透し、インターネット上の地図にも記載されています。今や地域に不可欠な団体・活動となつた水辺に遊ぶ会は、「いきもの元気、子どもも元気、漁師さんも元気な中津干潟を100年後も」を、スローガンに掲げています。言葉こそ柔らかいものの、その実現はとても難しい。けれども、そこに少しでも近づきたいという強い思いから生まれたスローガンです。「科学を基本とした保全活動を通して豊かな干潟の環境を次の時

代へ伝え、子ども達に自然体験をベースにした学習支援を提供する事で、次代を担う人材を育てていきたい。そして、ご先祖様から受け継いだ干潟の自然を継承し、一番近くで関わる漁業者の生業を守り、その文化を繋いでいかないといけません。私たちのミッションには、環境保全や教育だけでなく漁師さんの経済的なお手伝いも含まれています。」と山守さん。

中津干潟は地域の宝を愛してやまない人々の真剣なまなざしで守られています。



NPO法人水辺に遊ぶ会

【住所】 大分県中津市東浜1151-4
【電話】 0979-77-4396
【WEB】 <http://mizubeniasobukai.org>





かごしま きもつき きもつき 鹿児島県肝属郡肝付町

発信地

流域じまん

「高山川沿いには、国指定重要文化財二階堂家住宅があります。春に近くの河川敷には桜が咲きとても綺麗です。今回の流域じまんは、鹿児島県肝付町在住の読者から届いた、このメッセージから始まりました。

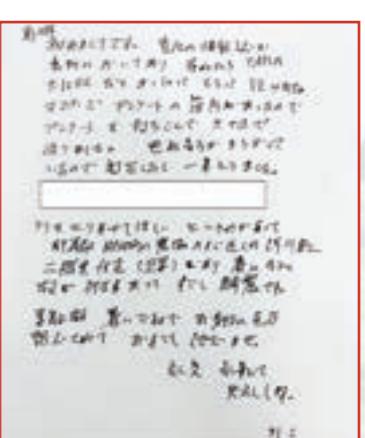
鹿児島県大隅半島南東部に位置する肝付町(旧高山(こうやま)町)。肝属山地、肝属平野、太平洋、そしてそれらを繋ぐ肝属川等、豊かな自然に囲まれ、山海の幸に恵まれています。町内に鎮座する四十九所神社(じゅうくしょじや)は、創建以来、1000年以上の歴史をほこる古社です。毎年10月には、地域で暮らす14才の男子が射手を務める「高山流鏑馬(こうやまやぶさめ)」の神事が継承されています。

また、宇宙航空研究開発機構 JAXA(ジャクサ)との連携で「ロケット発射場がある『宇宙の町』」としても知られている同町。2021年11月9日には、様々な宇宙技術の開発に貢献する「イプシロン5号機」の打ち上げに成功しました。

今回ご紹介する二階堂家住宅は、そんな伝統と新技術との交差点である肝付町の中心部に遺る伝統的な建築様式の住宅。国指定の重要文化財(建造物)に指定されています。

二階堂家住宅は、総面積128m²程の古民家です。立派な萱葺の屋根と、竹を割って作られている樋(とい)の間(ま)等、随所に魅力が光っています。

住宅の造りは、江戸時代の武家屋敷群等にみられる分棟型の住宅様式で、床や座敷等がある棟(おもて)と、炊事の作業をする棟(なかえ)の2棟で構成されています。広さ29畳のおもてと11.5畳のなかえは、互いに前後にずつ、随所に魅力が光っています。



九州かわとも事務局に届いたメッセージ

「かわとも」読者さんの
おススメ！！

国指定重要文化財

二階堂家住宅

に かい どう け じゅう たく

継承する工夫

らして建てられており、この様式は鹿児島県南部に特徴的な「雁行(がんこう)型の寄棟づくり」とも呼ばれています。その中でも、二棟が斜めに繋がつている仕組みは珍しく、また、大きな柱など、全てが組み込み式で、釘は一つも使っていないそうです。

「おもて」は、1810年(文化7年)に建設されたもので、築210年を超えていました。竹で作られた天井と床の間に印象的な、客間の役割を持つ部屋のほかに、床下に蚕を育てる仕掛けのある部屋には、今も糸車があります。その横にはこの住宅最後の居住者であり、国会議員であった、故二階堂進氏が日中友好関係に尽力した際プレゼントされたという、大きなパンダのぬいぐるみも鎮座しています。「なかえ」は、団炉裏や炊事場があり、現在でいう吹き抜けづくりとなつており、1889年(明治22年)に改築され、130年以上が経過しているそうです。

二階堂家住宅は昭和50年に国の重要文化財の指定を受けましたが、台風の多い地域にある為、度々被害を受けました。昭和61年には、2棟と一緒に90度回転し、南西に30m程度移設する大規模な修繕工事が行われました。当初は無料で公開されていましたが、平成22年以降は、見学料を徴収し維持管理費用に充てています。萱葺や竹の交換等、大がかりな修繕は二階堂進氏の甥にあたる二階堂豊明さんをはじめ、町の教育委員会や地域の方々が行っています。教育委員会で学芸員を務める清田祥之さんは、「令和2年に縁側上部の竹の庇を取り換える作業に携わりました。裏山から200本近い竹を切り出す作業は重労働で、その後さらに竹を割り、炙つて防腐処理を行い、繋ぎ合わせて…と、たいへん手間暇がかかりました。」と振り返ります。重

労働のあまり住民の協力を継続的に得られるか不安もあつたそうですが、「次はいつかな?」や「今度はココもしないや」と、住民が語り合う光景を見て、胸をなでおろしました。「地域の人達が、二階堂住宅の補修に関わる認識を持つておられる事が伝わりました。地域の方々と一緒に行つた補修作業は楽しい貴重な経験となりました」と笑みを浮かべられました。

美しい高山川沿いにある二階堂家住宅。春になるとおよそ200mの長さを誇る桜並木が一斉に咲き、町内外からたくさんの人々が訪れます。地域の重要な建造物を補修する技術と、共に後世に継承するという大切な役割は、二階堂家の子孫と地域の方々、行政関係者などご縁のある方の労力と思いが繋いでいることが分かりました。若い世代の力も借りつつ、住まいという文化財が美しい環境と共に後世に残されていくことを願っています。

二階堂家住宅

【住所】鹿児島県肝属郡肝付町新富5595 【開館時間】9:30~17:00
【見学料】大人:300円/子ども:150円(税込・シルバー人材センター事務所の券売機で販売)
【休館日】年末年始
【問い合わせ】肝付町教育委員会生涯学習課 TEL:0994-65-2594
【WEB】<https://kankou-kimotsuki.net/archives/introduce/nikaido-house>



【取材協力】

二階堂進さんの甥っ子 / 二階堂 豊明さん
肝付町教育委員会 生涯学習課 / 学芸員 清田 祥之さん

背景写真提供：肝付町観光協会

オモテの外観（建物奥）

ナカエの外観（建物手前）

2棟を繋ぐ立派な樋の間（板張りの間）

背比べは記憶とともに柱に刻まれている

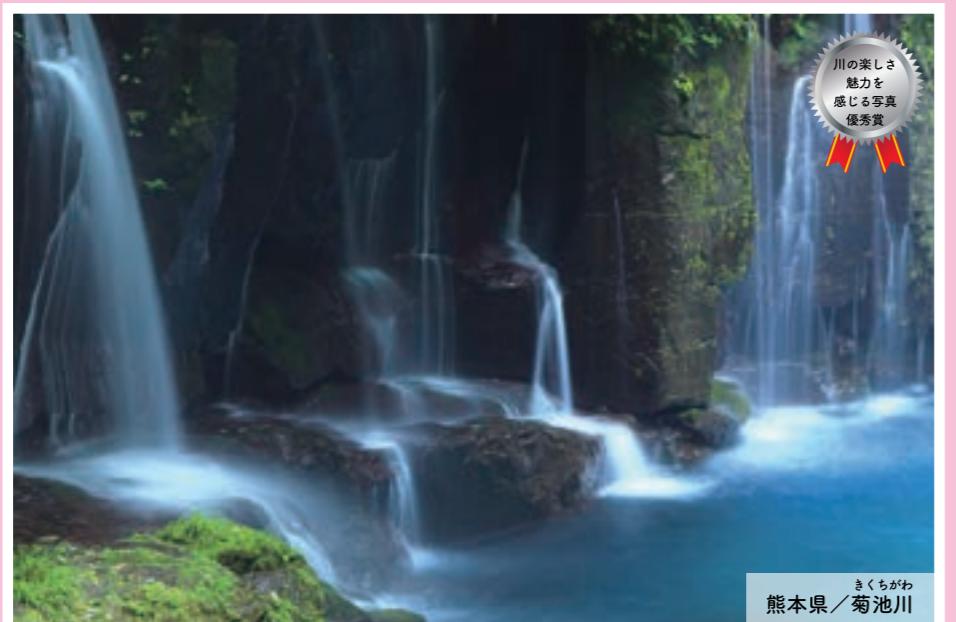
納戸の床下は通気性を良くするため竹で作られている



第4回九州川の風景 フォトコンテスト結果発表



「九州 川の風景フォトコンテスト」は、九州の川の様々な魅力、楽しみについて写真撮影を通じて、気づいてもらうとともに、投稿写真を見た方にも川の魅力、楽しみなどを知ってもらうこと、また、これらの写真を広く紹介することで、各地における魅力ある川づくりの推進を図り、さらに、募集テーマの一つに、「カッコいい！河川工事の写真」として募集を行うことで、「建設現場の扱い手不足」に対し、建設現場の魅力を知ってもらうことも狙いとし開催しました。次回開催時には、皆さんの応募をお待ちしております！！



川遊び情報誌「九州かわとも」を
ご支援いただいている賛助企業の皆様

河川協力団体ウェブサイトが誕生しました！

<https://nriver.jp/organization/>

スマートフォン対応



河川協力団体の制度や、九州での様々な活動に関する情報が一ヵ所に集まったポータルサイトです。ぜひご覧ください。

主なコンテンツ

- 河川協力団体とは？
- 九州各地での活動の状況
- YouTube チャンネル
- SNS (Facebook)
- 「かわとも」のバックナンバー

WEB サイト QR コード



編集後記

この度は「かわとも 4号」を手にとってください有難うございます。

九州の川を大切に思い、川に親しむ等の取組み（活動？）をして来られた守り人と素敵な物語を皆さんにお届けできることを嬉しく思います。3号発行後に、たくさんの方々から「活動の参考になったよ」「うちも負けられないな」といったコメントを頂戴しました。

そこで4号は、川で活動する人の顔が見え、思いが伝わってくる情報誌にしたいと考え制作しました。制作するにあたり、取材に応じてくださった皆様、写真などの資料を提供してくださった皆様には心より感謝申し上げます。

これからも素敵な情報と元気を届けられるよう、皆様にも情報もお寄せいただき、川を通した繋がりを広げていければ幸いです。



(株)有明測量開発社

〒860-4108
熊本市南区幸田二丁目7-1

いであ(株) 九州支店

〒812-0055
福岡市東区東浜1-5-12

応用地質(株) 九州事務所

〒812-0018
福岡市博多区住吉3丁目1番80号

(株)大本組 九州支店

〒810-0041
福岡市中央区大名2-4-30

(株)奥村組 九州支店

〒805-8531
北九州市八幡東区山王2-19-1

(株)柿原組

〒810-0022
福岡市中央区薬院3-4-21

株式会社川原建設

〒871-0434
大分県中津市耶馬溪町大字樋山路38番地

技研興業(株) 九州営業所

〒812-0007
福岡市博多区東比恵2丁目20-25

(株)九州開発エンジニアリング

〒862-0912
熊本市東区錦ヶ丘33番17号

九州建設コンサルタント(株)

〒870-0946
大分市大字曲936番地1

(株)九州建設マネジメントセンター

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号

九州電力(株)

〒810-8720
福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

(株)共同技術コンサルタント

〒880-0824
宮崎市大島町山田ヶ窪1926-1

(株)建設環境研究所 九州支社

〒812-0023
福岡市博多区奈良屋町2番1号 博多蔵本太田ビル7階

(株)建設技術研究所 九州支社

〒810-0041
福岡市中央区大名2-4-12

国際航業(株) 九州支社

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目6番3号

五洋建設(株) 九州支店

〒812-8614
福岡市博多区博多駅東2丁目7-27

砂防エンジニアリング(株)

〒350-0033
埼玉県川越市富士見町31-9

清水建設(株) 九州支店

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通三丁目6番11号

第一復建(株)

〒812-0006
福岡市博多区上牟田1丁目17番9号

(株)大進

〒890-0016
鹿児島市新院町21番7号

中央開発(株) 九州支社

〒814-0103
福岡市城南区鳥飼6-3-27

(株)東京建設コンサルタント 九州支社

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南2丁目12番3号

飛島建設(株) 九州支店

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通5丁目14番12号

(株)西技計測コンサルタント 九州営業所

〒826-0041
田川市弓削田見立3175

(株)西日本科学技術研究所

〒780-0812
高知市若松町9番30号

西日本技術開発(株)

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通1丁目1番1号

日鉄鉱コンサルタント(株) 福岡支店

〒820-0053
飯塚市伊岐須1-356

日本工営(株) 福岡支店

〒812-0007
福岡市博多区東比恵1-2-12

(株)ニュージェック

〒531-0074
大阪市北区本庄東2丁目3番20号

パシフィックコンサルタント(株) 九州支社

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目6番3号

(株)不動テトラ 九州支店

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前4丁目1番1号

松尾建設(株)

〒840-0842
佐賀市多布施一丁目4番27号

松本技術コンサルタント(株)

〒871-0161
中津市大字上池永1285-10

三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社 牟田建設(株)

〒812-0013
福岡市博多区博多駅2-14-1

〒842-0103
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲1756

八千代エンジニアリング株九州支店

〒810-0062
福岡県福岡市中央区荒戸2-1-5(大濠公園ビル4・5・6F)